＜様式1＞

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣　殿

地域型住宅グリーン化事業　適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実に相違ありません。

地域型住宅の名称	永く未来に続く住まい
グループの名称	住まいPlusサポート
直近採択グループ番号	06-0247-0446

（グループ代表者）

代表者名	土屋　健　　代表者印
代表者所属先	株式会社ツチヤ・フソウホーム
代表者所在地	静岡県浜松市西区入野町14191-1
代表者電話番号	053-448-1660

（グループ事務局）

事務局事業者名	株式会社三共建材
事務局担当者名	岩崎　友典　　印
事務局郵便番号	435-0007
事務局所在地	静岡県浜松市東区流通元町10-2
事務局電話番号	053-421-2211
事務局FAX	053-421-2214
事務局担当者E-mail	sankyo26@sankyouk.mewnet.or.jp

※）　日付以外は、様式2-1からリンクする為、入力は必要はありません。

＜地域型住宅の生産体制＞　　＜様式２－１＞

１．地域型住宅の名称(必須)	永く未来に続く住まい
２．グループの名称(必須)	住まいPlusサポート
３．直近採択グループ番号(必須)	06-0247-0446
４．地域型住宅供給対象地域(必須)	静岡県
５．結成年(必須)	2015　年
６．グループ代表者名(必須)	土屋　健
７．グループ代表者の所属先(必須)	株式会社ツチヤ・フソウホーム
８．グループ代表者所在地(必須)	静岡県浜松市西区入野町14191-1
９．グループ代表者電話番号(必須)	053-448-1660
１０．グループ事務局事業者名(必須)	株式会社三共建材
１１．グループ事務局担当者名(必須)	岩崎　友典
１２．グループ事務局郵便番号(必須)	435-0007
１３．グループ事務局所在地(必須)	静岡県浜松市東区流通元町10-2
１４．グループ事務局電話番号(必須)	053-421-2211
１５．グループ事務局FAX番号(必須)	053-421-2214
１６．グループ事務局担当者E-mail(必須)	sankyo26@sankyouk.mewnet.or.jp

（構成員数）		（構成員を含まない理由）
Ⅰ．原木供給	5	海外の合法木材使用時や原木が国有林等から供給される場合もあるため流通による合法性の証明により代替する
Ⅱ．製材・集成材製造・合板製造	5	海外の合法木材は特定が困難な為、構成員には含まず流通グループ構成員による合法性の証明によって代替する
Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く）	3	
Ⅳ．プレカット	3	
Ⅴ．設計	4	
Ⅵ．施工	10	
Ⅶ．木材を扱わない流通	2	
Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種	0	

	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称 ※以下該当の1、2、3の番号を番号記入欄に記入してください。 1.都道府県の産地認証制度等によるもの 2.民間の第三者機関による認証制度(FSC、PEFC、SGEC等) 3.林野庁作成の「木材・木材製品の合法性、持続可能性のためのガイドライン(平成18年2月)に基づき合法性が証明されるもの 4.クリーンウッドに基づき合法であることが確認された木材・木材製品(合法伐採木材等証明)	番号記入欄	国内・国外
A．使用する地域材に関する事項　(必須)	■　合法木材証明制度を利用する	国産材		3	国内
	■　合法木材証明制度を利用する	外材		3	国外
	□　PEFC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　PEFC認証制度を利用する	外材		2	国外
	□　SGEC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　FSC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　FSC認証制度を利用する	外材		2	国外
	□　FIPC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　クリーンウッド法に基づく証明	国産材		4	国内
	□　クリーンウッド法に基づく証明	外材		4	国外
	静岡県産材	静岡県	静岡県産材証明制度	1	国内

B．平成３０年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数（必須）	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		5	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		2	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸
			未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		7	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	5	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		2	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸
			未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		4	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		2	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸
		性能向上計画認定住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上))の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸
			未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		1	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		1	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸
		ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸
			未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		3	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		1	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸

C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	今年度要望する棟数及び面積	0	棟	
			0	㎡	
		その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積	0	棟	
			0	㎡	

D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール （必須）	工事請負契約書の写し、及び補助金に関する合意書の提出をもって確定物件を優先する。頂いた予算額により棟数の上限を設定、または登録構成員への再配分を行う。

E．平成２９年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)									
	採択戸数	3	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸	
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)									
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸	
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)									
	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸	
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸	
	優良建築物型									
	採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
	採択床面積	0	㎡	交付申請床面積	0	㎡	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	㎡	

＜様式 2-2・Ⅰ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅰ．原木供給（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に原木供給者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて原木供給者を含まないことがある場合の理由
海外の合法木材使用時や原木が国有林等から供給される場合もあるため流通による合法性の証明により代替する

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅰ．原木供給						
22	Ⅰ － 8	株式会社スンエン		427-0013	静岡県島田市御請229	0547-35-6111
22	Ⅰ － 17	龍山森林組合		431-3803	静岡県浜松市天竜区龍山町戸倉233-3	053-969-0331
22	Ⅰ － 18	株式会社フジイチ		431-3306	静岡県浜松市天竜区船明880	053-926-1232
22	Ⅰ － 19	春野森林組合		437-0604	静岡県浜松市天竜区春野町宮川1481	053-989-0185
22	Ⅰ － 20	静岡県森林組合連合会		420-8601	静岡県静岡市葵区追手町9-6県庁西館9階	054-253-0195
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					

＜様式 2-2・Ⅱ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅱ．製材・集成材・合板製造（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に製材・集成材・合板製造業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて製材・集成材・合板製造業者を含まないことがある場合の理由
海外の合法木材は特定が困難な為、構成員には含まず流通グループ構成員による合法性の証明によって代替する

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅱ．製材・集成材・合板製造						
22	Ⅱ － 7	株式会社ヤマタケ建設		426-0028	静岡県藤枝市益津下59-4	054-641-1216
22	Ⅱ － 8	株式会社スンエン		427-0013	静岡県島田市御請229	0547-35-6111
22	Ⅱ － 18	株式会社フジイチ		431-3306	静岡県浜松市天竜区船明880	053-926-1232
22	Ⅱ － 23	双竜木材株式会社		431-3303	静岡県浜松市天竜区山東2252	053-925-3621
33	Ⅱ － 24	銘建工業株式会社		717-0013	岡山県真庭市勝山1209	0867-44-2695
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					

＜様式 2-2・Ⅲ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く、長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く）						
22	Ⅲ － 8	株式会社スンエン		427-0013	静岡県島田市御請229	0547-35-6111
22	Ⅲ － 12	株式会社カワイ		438-0114	静岡県磐田市合代島1212	0539-62-5656
22	Ⅲ － 25	株式会社共和		434-0015	静岡県浜松市浜北区於呂1685	053-588-6767
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					

＜グループ構成員記入用リスト＞　Ⅳ．プレカット（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

＜様式 2-2・Ⅳ＞

グループ構成員にプレカット事業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいてプレカット事業者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅳ．プレカット						
22	Ⅳ － 8	株式会社スンエン		427-0013	静岡県島田市御請229	0547-35-6111
22	Ⅳ － 26	ポラテック富士株式会社		417-0801	静岡県富士市大淵字元篤3800-7	0545-37-1192
22	Ⅳ － 27	天竜プレカット事業協同組合		431-3306	静岡県浜松市天竜区船明2661	053-925-6311
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					

＜グループ構成員記入用リスト＞Ｖ．設計（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

＜様式 2-2・Ｖ＞

グループ構成員に設計事業者を含まない場合、その理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ｖ．設計							○	○
22	Ｖ － 3	有限会社岩田建築二級建築士事務所		433-8121	静岡県浜松市中区萩丘2-22-18	053-472-4037	○	
22	Ｖ － 4	暁工務店		437-1622	静岡県御前崎市白羽6052-6	0548-63-3360	○	
22	Ｖ － 9	WOOD FUN 設計室		426-0087	静岡県藤枝市音羽町1-15-25	054-641-1277	○	
22	Ｖ － 28	株式会社共和一級建築士事務所		434-0015	静岡県浜松市浜北区於呂1685	053-588-6767	○	
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅵ. 施工-1（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ⅵ. 施工-1（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）							10	○	○
22	Ⅵ - 2	75253	有限会社岩田建築		433-8121	静岡県浜松市中区萩丘2丁目22番18号	053-472-4037	○	
22	Ⅵ - 4	75062	暁工務店		437-1622	静岡県御前崎市白羽6052-6	0548-63-3360	○	
22	Ⅵ - 5	75157	大橋工業株式会社		434-0012	静岡県浜松市浜北区中瀬349	053-588-0009	○	
22	Ⅵ - 6	74848	株式会社安達建設		437-0012	静岡県袋井市国本2955-3	0538-42-2360	○	
22	Ⅵ - 7	74950	株式会社ヤマタケ建設		426-0028	静岡県藤枝市益津下59-4	054-641-1216	○	
22	Ⅵ - 10	75299	有限会社カズコーポレーション		431-3108	静岡県浜松市東区恒武町161-1	053-435-4311	○	
22	Ⅵ - 11	74791	伊藤建築		431-3105	静岡県浜松市東区笠井新田町964	053-434-3674		○
22	Ⅵ - 13	74931	株式会社ツチヤ・フソウホーム		432-8061	静岡県浜松市西区入野町14191-1	053-448-1660	○	
22	Ⅵ - 14	74769	フジモト工務店		431-3102	静岡県浜松市東区豊西町602	053-435-1527	○	
22	Ⅵ - 15	74760	デザインハウス株式会社		432-8051	静岡県浜松市南区若林町1308-1	053-448-3270	○	
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	平成29年（1月～12月）の元請実績及び直近3年の年平均元請実績										補助金活用実績の合計数(H27～H29)			被災地に該当	ZEHビルダーに該当	BELS工務店に該当
Ⅵ. 施工-2				元請の新築住宅供給戸数		うち木造長期優良住宅の実績		うち認定低炭素住宅・性能向上計画認定住宅の実績合算		うち木造ゼロエネ住宅の実績		優良建築物の着工床面積の実績		長期優良住宅	高度省エネ型住宅	ゼロエネ住宅	○	○	○
				H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均						
22	Ⅵ － 2	75253	有限会社岩田建築	3 戸	3 戸	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
22	Ⅵ － 4	75062	暁工務店	2 戸	2 戸	1 戸	2 戸	0 戸	1 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
22	Ⅵ － 5	75157	大橋工業株式会社	4 戸	4 戸	0 戸	0 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
22	Ⅵ － 6	74848	株式会社安達建設	4 戸	2 戸	3 戸	2 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	4以上	3以下	3以下			
22	Ⅵ － 7	74950	株式会社ヤマタケ建設	2 戸	3 戸	2 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	1 戸	㎡	㎡	4以上	3以下	3以下		○	
22	Ⅵ － 10	75299	有限会社カズコーポレーション	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
22	Ⅵ － 11	74791	伊藤建築	2 戸	2 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
22	Ⅵ － 13	74931	株式会社ツチヤ・フソウホーム	8 戸	9 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下		○	
22	Ⅵ － 14	74769	フジモト工務店	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
22	Ⅵ － 15	74760	デザインハウス株式会社	17 戸	16 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	1 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			○
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅶ. 木材を扱わない流通

＜様式 2-2・Ⅶ＞

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅶ. 木材を扱わない流通						
22	Ⅶ － 1	株式会社三共建材		435-0007	静岡県浜松市東区流通元町10-2	053-421-2211
22	Ⅶ － 8	株式会社スンエン		427-0013	静岡県島田市御請229	0547-35-6111
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					

＜様式 2-2・Ⅷ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種（畳、瓦、襖等の住宅資材の供給事業者等）

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種						
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式3－1＞

1．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）永く未来に続く住まい	（地域型住宅供給対象地域）静岡県
2．グループの名称・結成年（必須）	（グループの名称）住まいPlusサポート	（結成年）2015 年
3．過去のグリーン化事業採択グループ番号（必須）	06-0247-0446	

4．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア．特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】		◎、○記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	巨大地震に備え、耐震等級2を基本とする。または建物内の温度差による健康被害を重視し、高い断熱性能を確保し、住まい手の「健康維持」と「光熱費の削減」を目指す。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	風向きデータを基に通風シミュレーションを行い、自然風を有効活用できる窓設計を取り入れる。 耐久性・耐震性の点では、土台105ミリ以上、基礎立ち上がり幅150ミリ以上とする。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	断熱性能、設備機器に頼るだけでなく、温暖な気候を活かしたプランニングを行い、性能については可能な限り可視化を推奨する。	◎
④ ①～③の背景	今後30年以内に88％の確率で発生すると言われている東海地震のエリアであること。 日照時間が全国的に見ても長い地域で、特に県西部は全国上位であること。 安心で快適に住まえることで「永く未来に続く住まい」の実現を目指すため。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	建築主に対し、冊子（アプローチブック）等を有効利用し、これから共に創る「お家（おうち）」がどの様なものかを解り易く説明する。	◎

イ．効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】					◎、○記入欄
a	①-1 用材の寸法規格化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：仕様の目安を作成すると共に、不慣れな建築業者に対しては、事務局からアドバイスすることで各事業者が取り組み易い環境を作る。	◎
	①-2 使用建材の統一	■ 行っていない	□ 行っている→	内容：	
	①-3 標準仕様の設定	■ 行っていない	□ 行っている→	内容：	
	②-1 建材・資材調達の共同化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：推奨品の選定による合理化と安定供給を図る。	◎
	②-2 調達事務の合理化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：推奨品の選定による合理化と安定供給を図る。	◎
	③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：事務局を中心に当事業の委員会を立ち上げ、年3回委員会を開催し、技術向上・情報の共有を図りながら合理化の検証を行う。	◎
	④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	□ ない	■ ある →	内容：事務局は、標準仕様・合理化に関する案や商品、国の政策情報などを構成員に伝え、意見交換の場の設定や調整窓口機能を担う。また、申請手続きの不備を防ぐ為の書類整備に関するアドバイスも行い、未経験工務店でも取り組み易い環境を作る。	◎
b	① グループの信頼性向上に向けた施工基準	□ ない	■ ある →	内容：断熱材、外部サッシ、防水紙、防水テープの適切な施工方法等の勉強会を実施し、グループとしての技術向上と施工の一定基準の保全を図る。	◎
	② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	□ ない	■ ある →	内容：住宅瑕疵保険の自己チェックシートの活用を推奨する。 一定期間を設け、グループ内の施工中の現場見学を行い、視察結果を勉強会や委員会の場で報告・検討する。	○
	③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	□ ない	■ ある →	内容：建築主が分かり易い見積作成を目指し、一式の合計金額のみの提示は極力なくす様に努め、建築主が分かり難いと思われる商材については、カタログ等資料を添付し理解が得られる様に努める。	◎
	④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	□ ない	■ ある →	内容：引渡し後も定期的なメンテナンス体制作りのために、アフターフォロー勉強会の実施や、長期修理サービスの採用について検討推進する。当グループ及び各事業者の取組事例等を各社のイベントや見学会等でエンドユーザーを含めたお客様に情報発信していく。	◎
c	① 週休2日制の導入の取組	□ ない	■ ある →	内容：週休2日を実施するための環境整備を行い、工期等の見直しを推奨する。	○
	② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	□ ない	■ ある →	内容：国土交通省の能力評価制度について公開されている資料を参考に、技術や経験にふさわしい処遇の実現方法を検討する。	◎
	③ 社会保険への加入	□ ない	■ ある →	内容：加入義務がある対象者は当然であるが加入をする。	◎
	④ 安全及び健康の確保のための取組	□ ない	■ ある →	内容：定期的に安全衛生会議を開催し、危険予知や熱中症対策について学ぶ。代表者だけでなく現場作業従事者への参加も促す。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	建築に関る資材については、可能な限り静岡県内または近隣の県から供給することで輸送段階におけるCO_2削減への貢献を図る。 対象の地域型住宅の建築看板に地域型住宅グリーン化事業取り組みの建物であることを明記し、認知度向上に努める。				○

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式３－２＞

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）永く未来に続く住まい	（地域型住宅供給対象地域）静岡県
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）住まいPlusサポート	（結成年）2015　年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0247-0446	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ．長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成30年度対応方針】						◎、○記入欄
a	①住宅履歴情報の蓄積	①-1 内容・蓄積の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：グループで推奨する住宅履歴情報サービスの利用もしくは各自の維持保全計画書にて、定期的な点検を実施していく。	◎
		①-2 情報サービス機関の活用	□ ない	■ ある →	内容：「いえもり・かるて」や「リビングベル」などを紹介する。	○
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法	□ ない	■ ある →	内容：会議の際等で、定期的にアンケート等を活用し、状況確認をする。	◎
	②メンテナンス基準の整備	②-1 点検の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：引渡し時に建築主に対し維持保全計画書や住まいのお手入れガイド等を配布し、日常的に中長期のメンテナンスが必要であることを伝える。	◎
		②-2 補修の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：グループで推奨する維持保全計画書を基に定期的な補修を行う。	◎
		②-3 点検補修実施の確認手法	□ ない	■ ある →	内容：会議の際等で、定期的にアンケート等を活用し、状況確認をする。	◎
	③住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施	□ ない	■ ある →	内容：事務局を中心とした年1回のイベントや当グループ構成員の展示会、イベントにてOB施主様や住まい手にメンテナンス相談会を実施する。	◎
		③-2 DIY体験会等の実施	□ ない	■ ある →	内容：上記のイベント時に企画および実施する。	○
		③-3 その他の相談会等の実施	□ ない	■ ある →	内容：各設備メーカーショールームにて共同開催形式で相談会の実施を図る。	◎
	④	維持管理委員会等の設置	□ ない	■ ある →	内容：事務局を中心に維持管理検討委員会を立ち上げ、維持管理方法や住宅履歴情報の運用について検討を行う。	○
	⑤	その他の維持管理の手法	□ ない	■ ある →	内容：グループ定例会にて維持管理についての情報共有を行う。	◎
b	①	グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	□ ない	■ ある →	内容：当グループ総会にて検討し、履歴情報を基にグループ構成員に引き継ぐ等、継続したメンテナンス実施に向け、事務局も含め情報共有に努める。	○
	②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	□ ない	■ ある →	内容：住宅瑕疵保険会社による勉強会を実施する。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			認定低炭素、ゼロエネ住宅においても住宅の長期に渡る維持保全の重要性を建築主に説明し、維持保全計画書の活用と管理を行い、周辺環境への配慮および貢献に努める。 全物件での瑕疵担保保険の加入を義務とし、合わせて住宅設備機器等の延長修理サービスの説明提案活動を行う。			◎

エ．グループの技術力の向上

【平成30年度対応方針】						◎、○記入欄
a	①	未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	□ ない	■ ある →	内容：定期的にテーマを定め、勉強会の開催または実物件での視察研修により施工方法を学ぶ。	◎
	②-1	品質管理のための共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：施工事業者、設計構成員の省エネ技術講習会の受講。	◎
	②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法	□ ない	■ ある →	内容：アンケートにて未受講者を把握し、講習会の日程を案内および受講を促す。	◎
	③-1	需給計画の策定	□ ない	■ ある →	内容：2020年までに新築物件全棟数の半数をゼロエネ住宅化を目指す。	○
	③-2	技術力向上のための中長期的な計画	□ ない	■ ある →	内容：耐震に関する技術力向上のため、昨年度に引き続いて、構造・基礎・地盤についての技術講座を講師を招いて年間5回シリーズにて開催する。	◎
	④	③に基づく業種ごとの合理化の取組	□ ない	■ ある →	内容：断熱、サッシ、設備機器等の推奨仕様について再検討を行い、より効果的な商品を選定する。	○
b	①-1	省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数　24		今年度の参加目標人数　3	◎
	①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数　10		今年度の参加目標人数　3	◎
	②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組	□ ない	■ ある →	内容：随時講習会の日程を情報共有し、未受講者を無くす様に努める。	◎
c	①	新たな技術等の導入	□ ない	■ ある →	内容：該当する物件等への視察研修、意見交換会を実施し、必要であれば専門家を招き、研修会を開催する。	◎
	②	新たな技術等の開発	□ ない	■ ある →	内容：該当する技術に関する情報は、専門家を招き情報共有に努め、住まい手の声を聴く機会も作り、検討を図る。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			グループ構成員同士の意見交換会、勉強会などを計画および実施により、グループ全体の技術力向上に努める。			◎

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）永く未来に続く住まい	（地域型住宅供給対象地域）静岡県
2．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）住まいPlusサポート	（結成年）2015 年
3．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0247-0446	

4．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

オ．地域の産業・住文化・景観等への寄与

【平成30年度対応方針】			◎、○記入欄
a	① 地域材利用に関する共通ルール（必須）	横架材は無垢の合法木材を使用する。ただし、材の強度、コスト、納期、品質を考慮し積層の合法木材も可とする。 主要構造材（土台、柱、梁、桁）は、静岡県産材または国内外の合法木材を使用する。	◎
	② 地域材利用の1棟当たりの割合（必須）	□ 50%未満　■ 50%以上　□ 80%以上	◎
	③ 標準的な地域材の使用部位（必須）	主要構造材　土台：□ 使用していない　■ 使用している 柱：□ 使用していない　■ 使用している 梁・桁等の横架材等：□ 使用していない　■ 使用している 羽柄材　間柱、根太、垂木等：■ 使用していない　□ 使用している 造作材　枠材、廻縁等：■ 使用していない　□ 使用している 板材　壁板、床板等：■ 使用していない　□ 使用している	◎
	④ 地域材の流れ（フロー図）などグループの取組に関する補足説明	原木供給→製材・集成・合板製造→建材流通→プレカット→施工 ※合法木材認定を受けた流通業者の証明書類にて証明する。	
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	□ ない　■ ある →　内容：地域材の在庫量を構成員より情報提供を促し、施工構成員の情報と合わせ調整を図る。	◎
	①-2 地域材価格の共有の仕組	□ ない　■ ある →　内容：施工構成員と流通構成員共に意見交換会時に情報交換を行い、検討および情報共有を図る。	○
	② グループ全体における地域材の需給予測	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：使用量を把握するためにグループ内で情報共有（確定、予定物件数）を図る。	◎
c	①-1 畳の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：畳を使用した和室を推奨する。	○
	①-2 和瓦の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：屋根材が瓦の場合は、国産の瓦の採用を推奨する。	○
	①-3 襖の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：和室がある場合は、襖（国産和紙等を使用した）の採用を推奨する。	○
	①-4 障子の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：和室がある場合は、骨組に国産材を使用した障子の採用を推奨する。	○
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：漆喰などの部分使いを推奨する。	○
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：和紙などの部分使いを推奨する。	○
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：建築主の希望により、地元特産素材を取り入れることも検討する。	○
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：永く未来に続いて安心、快適に暮らすことが可能な地域型住宅の供給のため、可変性のある間取りや、再利用可能な素材使用等を推奨する。	○
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：庭などの外部に樹木を植え、木の見える街並みづくりに努める。	○
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：和の住まいについての勉強会等を通じ、和の要素を取り入れた住宅の提供を推奨する。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		事務局とグループ構成員の共同主催イベントにて、地域型住宅グリーン化事業のPRや地元資源の地産地消推進と地元企業の認知度向上に寄与する。	◎

カ．その他

【平成30年度対応方針】		◎、○記入欄
東日本大震災の復興に資する取組	被災地域で製造されている合板などを積極的に採用する。	○
平成28年熊本地震の復興に資する取組	被災地域で製造されている合板などを積極的に採用する。	○

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（高度省エネ型・優良建築物型のみ）　　＜様式３－４＞

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）永く未来に続く住まい	（地域型住宅供給対象地域）静岡県
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）住まいPlusサポート	（結成年）2015 年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0247-0446	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ．グループが取組む木造住宅・建築物の特徴
※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。
※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

住宅建物自体の外皮性能を高めることで一次エネルギーの消費量を抑えると共に、高効率の設備機器を提案・推奨する。
グリーン化事業について未経験の工務店には様々な勉強会を行い、情報共有を図りつつ地元工務店力の向上に努める。
コストとのバランスを考慮した上で適切な量の太陽光発電を搭載する。
構造・基礎・地盤の勉強会を実施することにより、本当の意味で「永く住まい続ける家造り」の推進を図る。

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。